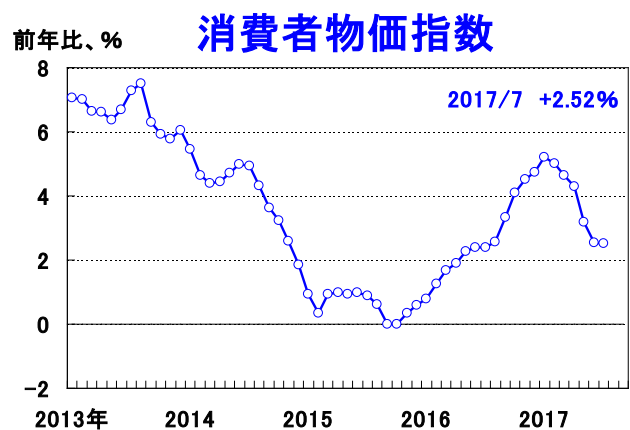
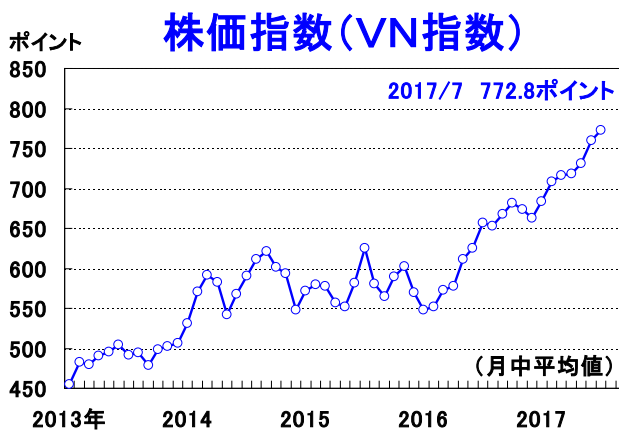
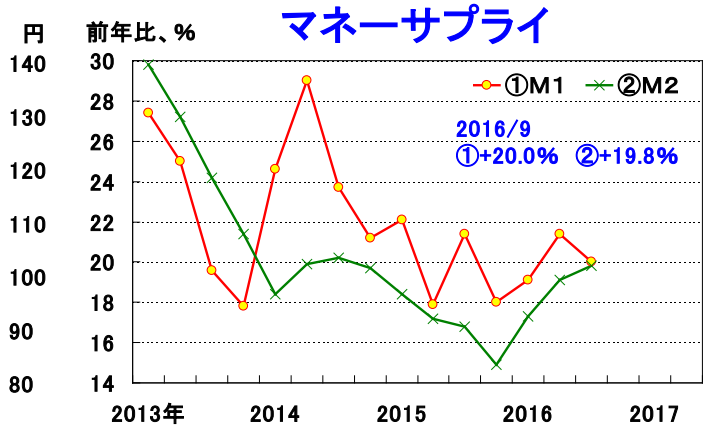
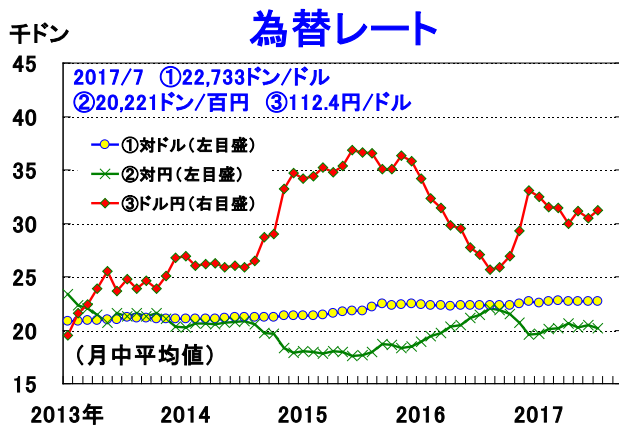
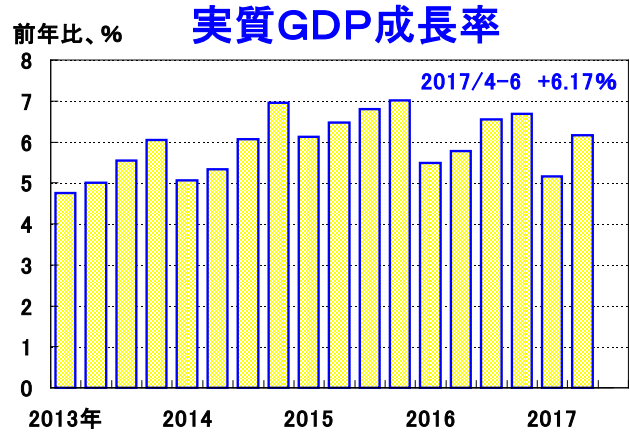
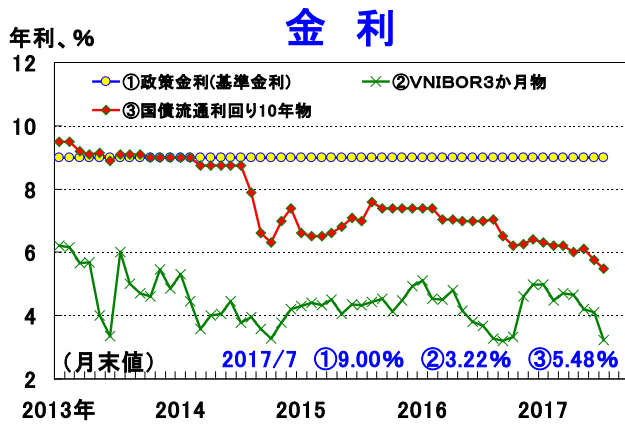


グラフで見るベトナム経済 2017年8月号(No. 91)

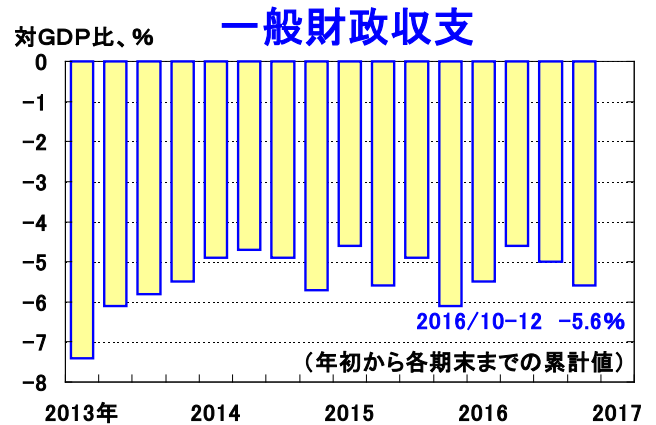
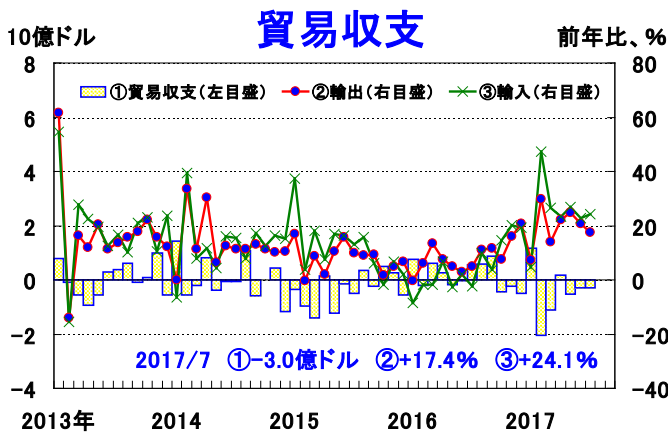
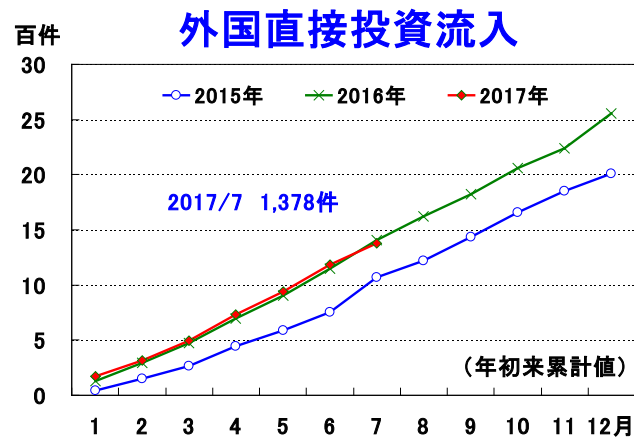
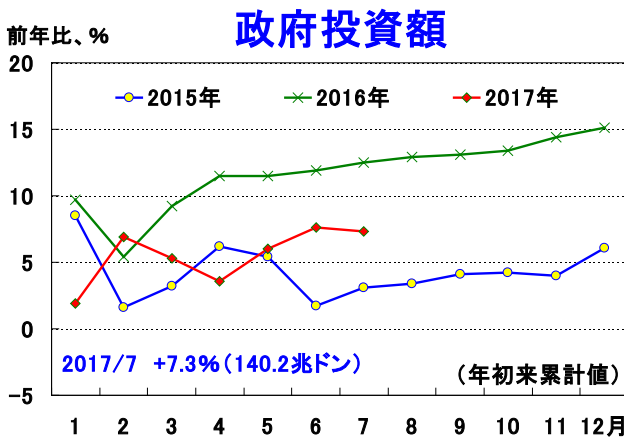
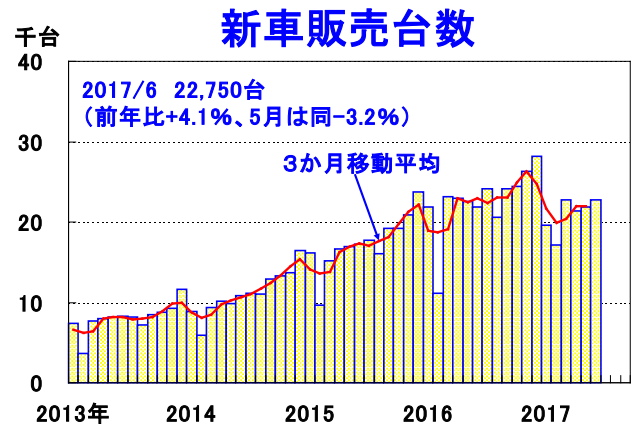
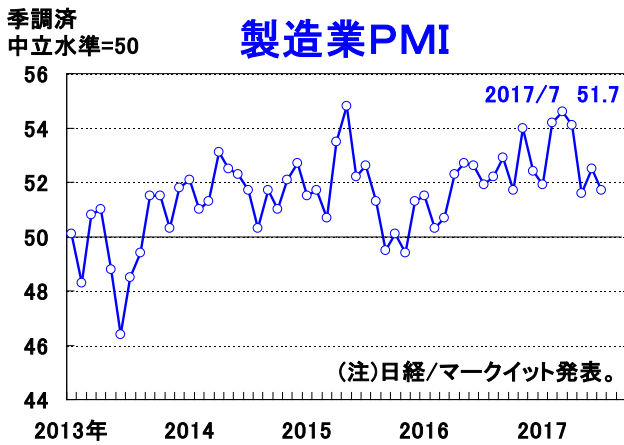
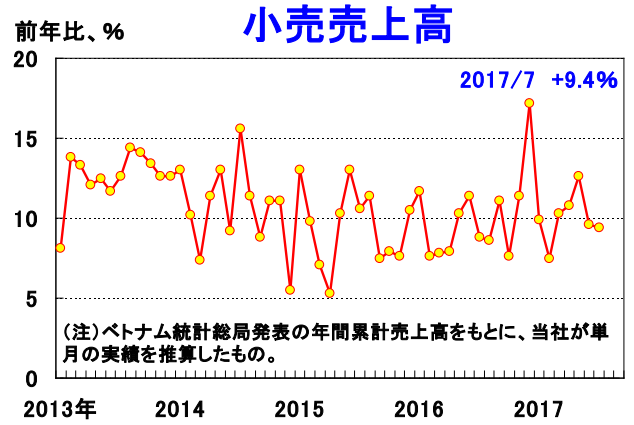
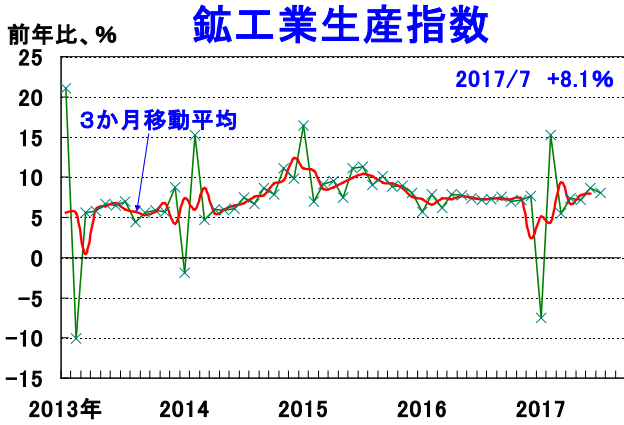
ベトナム景気は、家計部門の一部に若干の陰りもみられるが、総じて緩やかな回復基調にある。すなわち、6月の新車販売台数が前年比+4.1%と4か月ぶりに増加したものの、7月の小売売上高は同+9.4%と2か月続けて減速している。一方、企業部門をみると、7月の輸出は前年比+17.4%と6か月連続で2桁の伸びを維持し、同月の鉱工業生産も同+8.1%と伸びが底堅く推移している。7月の製造業PMIは51.7と、前月の52.5からやや低下したものの、20か月連続で中立水準の50を上回った。製造業の景況感も良好な状況が続いている。



【今月のトピック: 飛躍的に拡大するベトナム観光】 外国人のベトナム観光客が飛躍的に伸びている。世界各国の外国人旅行者数を調査した国連世界観光機関(UNWTO)のレポートによると、2016年のベトナムの前年比増加率は24.6%、世界第7位の伸び率となった。ベトナム以外で南アジア地域の国で上位20位にランクインしたのはインドネシア(20位)のみである。ベトナム政府は観光の振興に注力しており、空港整備をはじめとしたインフラ整備を進めている。2017年上半期の外国人旅行者は620万人、前年比30.2%と、一段と増加している。

(出所) ベトナム国家銀行(SBV)、ベトナム統計総局(GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。